

平成 30(2018)年

禅語こよみ



しほう かけお へきは うえ
士峰 影落つ 碧波の上
いちよう ぎよしゆう ゆき さお かえ
一葉の漁舟 雪に掉さして帰る

(平林寺中興開山鉄山宗鈍禪師「富士川の船上に於いて」詩)

七里ヶ浜 波間に富士の かげ見えて
小舟漕ぎゆく 山の頂き

協力 平林寺 (埼玉県)

発行／公益財団法人 禅文化研究所
〒604-8456 京都市中京区西ノ京壺ノ内町8-1
花園大学内 電話075-811-5189
<http://www.zenbunka.or.jp>

富士山図 (狩野安信筆／江戸時代〈17世紀〉)

狩野孝信の三男であり、探幽の弟である安信による富士山図の多くは、三保松原と組み合わせたものであるが、本図は珍しく、景勝地として知られる神奈川県鎌倉市七里ヶ浜から江ノ島越しに望むものである。

野火止の平林寺所蔵品より

平成 30(2018)年 禅語こよみ

埼玉県野火止の禅刹、金鳳山平林寺は、永和元年(1375)、武蔵野の岩槻において石室善玖(1294-1389)を開山に迎えて開創され、近世初頭には鉄山宗鈍(1532-1617 / 昨年 400 年遠諱に正当)が中興した名刹。その後、檀越・松平信綱(1596-1662)によって現在地に移された。広大な境内林は武蔵野の面影を現在ものこし、臨済宗の専門道場としても知られる。

今年の「禅語こよみ」は、禅文化研究所のデジタルアーカイブス事業として、同寺所蔵の宝物悉皆調査を行なった中から、逸品を使用させて頂いた。



右大臣源綱吉筆



鶴図（徳川綱吉筆・江戸時代・二幅のうち左幅）



涅槃図（狩野元俊筆・江戸時代）



春冬梅花図（維明周奎筆・江戸時代・二幅のうち左幅）



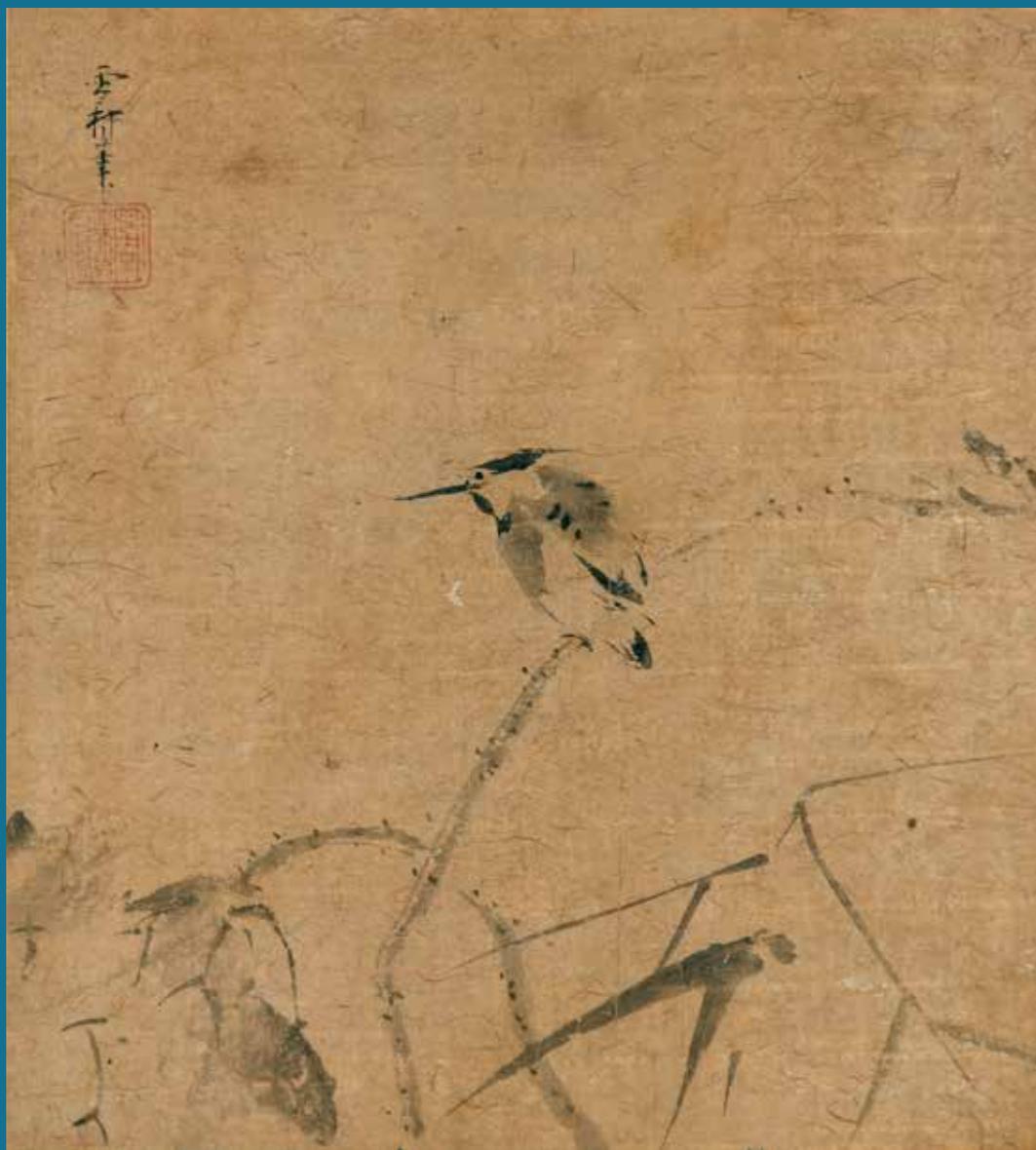
寒山図 (室町時代)



牡丹図（松平輝高筆・江戸時代）



観音・龍図（狩野探幽筆・寛文十二年・三幅のうち右幅）



荷葉翡翠図（雪村周繼筆・室町時代）



魚籃觀音圖（琢堂〔玉彭〕筆・江戸時代）



蘆雁図（渡辺崋山筆・江戸時代）



鼠に羽箭図(白井直賢筆・江戸時代)



笛吹地藏図（狩野安信筆・江戸時代）



羅漢図（室町時代）